

令和5年度事業に関する

池田町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、池田町教育委員会では、令和5年度の教育委員会活動の取り組み実績について評価をするために、下記2名の学識経験者を教育行政評価委員として委嘱し、ご意見をいただきました。つきましては、別添評価を頂きましたのでご報告します。

なお、池田町教育委員会では、評価委員の貴重なご意見を鑑み、本評価における成果や課題について再認識し今後の施策改善に反映させるとともに、目指すべき方向についてより具体的で効果的な教育行政の推進を図って参ります。

池田町教育行政評価委員（順不動 敬称略）

伊 藤 芳 郎
縣 美 智 子

令和6年9月2日提出
池田町教育委員会

令和5年度事業 池田町教育行政点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、令和5年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

◇点検・評価項目

- ① 教育行政の遂行
- ② 学校園運営協議会（コミュニティ・スクール）
- ③ 部活動地域移行
- ④ 就学援助費給付
- ⑤ 保護者への連絡ツール新システム構築
- ⑥ ICT支援業務
- ⑦ こどもの学び塾支援事業
- ⑧ 保小中15年プラン推進
- ⑨ 中間教室
- ⑩ スクールバス運行事業経費
- ⑪ 文化財保護業務
- ⑫ 浅原六朗文学記念館管理運営
- ⑬ 小中学校への人員配置
- ⑭ 学校給食費補助
- ⑮ 認定こども園運営
- ⑯ 認定こども園施設管理
- ⑰ 児童クラブ・児童センター管理運営
- ⑱ 放課後子ども教室運営
- ⑲ 交流センター管理運営
- ⑳ みんなの文化祭・芸能発表
- ㉑ 公民館講座 新池田学問所
- ㉒ 男女共同参画推進
- ㉓ 図書館管理運営
- ㉔ 図書資料
- ㉕ 美術館管理運営
- ㉖ 創造館管理運営
- ㉗ 多目的研修集会施設管理運営
- ㉘ 公園管理
- ㉙ 各種体育施設の管理運営及び体育振興

① 教育行政の遂行

定期的な教育委員会の開催により、学校教育並びに社会教育の基本方針等を決定し、遂行した。

池田町第2次教育大綱施行後5年目を迎え、総合教育会議で成果と課題及び力を入れるべき教育施策について町長と共通認識を持つことができている。今後も町長との連携強化を図りながら、教育大綱の具現化に向けた取り組みを進められたい。

・定例会教育委員会 月1回 ・臨時教育委員会 1回 ・総合教育会議 1回開催

令和5年度 定例会教育委員会の会議状況	
開催期日	会議の主な内容等
4月1日 (臨時会)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の指名について
4月18日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・池田町教育委員会就学支援委員会委員の委嘱について ・池田町放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について ・池田町社会教育委員の委嘱について ・池田町学校園運営協議会委員の委嘱について ・池田町教育行政評価委員の委嘱について ・池田町男女共同参画推進協議会要綱を廃止する要綱の制定について ・会染保育園方向性について ・公共施設予約システム導入に係る例規の整備について
5月23日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・池田町学校園運営協議会委員の委嘱について ・池田町図書館協議会委員の委嘱について ・池田町立美術館運営協議会委員の委嘱について ・あづみ野池田クラフトパーク運営協議会委員の委嘱について ・池田町放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について ・池田町学校園運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について ・一般会計補正予算（第3号）について ・第39回てるてる坊主童謡まつりについて ・令和5年度 池田町二十歳のつどいについて ・池田町総合計画審議会委員の選任について

6月22日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助者の認定について ・令和5年度就学援助者の不認定について ・池田町立美術館運営協議会委員の委嘱について ・あづみ野池田クラフトパーク運営協議会委員の委嘱について
7月25日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度使用小中学校用教科書の採択について ・池田町美術館条例の一部を改正する条例の制定について ・池田町交流センター管理規則の一部を改正する規則の制定について ・区域外就学の許可について
8月24日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助者の認定について ・一般会計補正予算（第5号）について ・令和4年度事業 池田町教育行政点検・評価報告書について ・会染保育園方向性について ・小中学生交流センターかえでの使い方について
9月21日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定校変更の許可について ・会染保育園の方向性について
10月18日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・浅原六朗文学記念館協議会委員の委嘱について ・区域外就学の許可について ・会染保育園の方向性について
11月21日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助者の認定について ・一般会計補正予算（第8号）について ・池田町認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について
12月21日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・会染保育園の方向性について ・池田町子ども読書活動推進計画改定について ・池田町第2次スポーツ推進計画策定について
1月25日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助者の認定について ・池田町認可外保育施設児童処遇向上事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について ・池田町文化芸術振興報奨金交付要綱の制定について ・一般会計補正予算（第10号）について ・池田町第2次教育大綱振り返りについて
2月22日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助者の認定について ・令和6年度の主な新規・拡充等事業について

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員自家用車の公務使用取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について ・池田町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規程の制定について ・総合教育会議について
3月21日 (定例会)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について

令和5年度 総合教育会議の会議状況	
開催期日	会議の主な内容等
2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度教育施策内容について ・第2次教育大綱施行後5年を経て成果と課題

② 学校園運営協議会（コミュニティ・スクール）

『地域と共にある園・学校づくり』『園・学校を核とした地域づくり』実現に向け、活動を進められている。ボランティア参集、組織づくり等に課題はあるが、子どもの数が減り、保護者の活動に限度がある中地域からの支援は必要なので、活発な活動を期待する。

- ・推進委員会3回 協議会4回開催

③ 部活動地域移行に関すること

部活動地域移行を目指して検討を重ねているが、移行後クラブとして活動をする運営組織をどうするか決まらず課題が多い。

子ども達にとって課外活動は、協調性、想像力及び忍耐力を養う等多くの良い効果をもたらすものであるため、活動を共にする松川村と協議を重ね、子ども達の充実した活動のために良い方策を生み出して欲しい。

- ・部活動改革検討会4回開催

④ 就学援助費給付

対象者となる準要保護者の経済的負担の軽減を行った。給食費、学用品費、修学旅行費等の補助のほか、新入学学用品費の前倒し支給を継続実施するなど家庭負担を考慮している。

項目	数値	前年度との比較
要保護、準要保護者数	69人	△8人
支給額	4,543,113円	△954,347円※

※町が小中学生全員対象に給食費への補助を年間1万円増額したことから、就学援助費の支給額も減少している。(就学援助制度では、給食費全額を支給するため、保護者負担が減れば就学援助費の支給額も減ることになる)

⑤ 保護者への連絡ツール新システム構築

保護者へメール配信により連絡していたツールを次年度よりアプリを使ったシステムに変更することとし、その構築作業が行われた。

新システムではお便りが発信出来る、アンケート機能が使える、保護者がお知らせを見たか確認出来ること等良い機能が沢山あり、保護者、学校双方とも便利になるそうなので、有効に活用されたい。

・システム利用負担金 174,240円

⑥ ICT支援業務

小中学校の学習でのICTの活用に関し、専門業者に委託し支援員2名体制で教員をサポートし、また環境整備を行っている。

専門業者からの支援は、子ども達の教育的効果を上げるだけでなく教員の働き方改革にもつながるので、今後も支援を受けられるよう図られたい。

・ICT支援業務委託料 3,941,600円

⑦ こどもの学び塾支援事業

・教科学習支援

【水曜ステップアップ塾】

毎週水曜日の放課後、(中学生は夏休み有)に児童生徒が行う宿題等の自主学習に対し、元教員等のボランティアが学習支援を行っている。子どもの自主学習の習慣づけに大きな役割を果たしている。

学習支援ボランティア

13人

学校名	登録児童生徒数	開催回数
池田小学校	17人	31回
会染小学校	21人	31回
高瀬中学校	25人	42回

・ふるさと学習支援

【土曜ふるさとクラブ】

児童生徒保護者対象に、地域ボランティアの方を講師に様々な活動を行っている。親子が共に楽しみながら地域の方や幅広い友達と交流でき、かつ豊かな体験が出来る有意義な場となっている。

指導者の力は有難く、今後も貴重な体験が出来るよう続けられたい。

項目	実績	前年度との比較
クラブ数	9※	△3
参加者	児童生徒	△35人
	保護者	△20人

※クラブ内訳・・・自然体験、パン作り、子どもキッチン、布遊び、美術、太鼓、編み物、けん玉・こま、高瀬川

⑧ 保小中 15 年プラン推進

実践ガイドブックを共有し、保小中 15 年プランの理解を図るとともに、合同研修会、各機関どのように保育・教育を行っていて、子ども達の様子はどうか参観し合う旬間設定及び、目指す 15 歳の姿はどうか中学 3 年生の参観等を行い、保育士・教師力を高め合っている。

教職員の異動があっても同じ意識で取り組みを続けていかれるよう、地道に取り組みを進められたい。

- ・合同研修会 3 回
- ・参観旬間 2 回（2 週間）

⑨ 中間教室

全国的に不登校児童生徒が増加している中、町でも例外では無く、多様な学びの場が求められる中、町内に無かった中間教室を、池田児童クラブ内に設置し運営を開始した。

学校に足が向きにくい子どもの居場所や学びの場として効果的な活動ができています。更に関係者と情報共有しながら支援を進めて欲しい。

- ・登録児童生徒数 11 人

⑩ スクールバス運行事業経費

登下校の手段として、会染小学校児童用にスクールバスを、高瀬中学校陸郷地区生徒のためにタクシーを運行している。

登下校に欠かせない事業であるため、引き続き支障無く運行できるよう配慮されたい。

スクールバスに置き去り防止装置が取り付けられ、より安全な環境が保たれている。

項目	実績額	前年度との比較
会染小学校スクールバス運行委託料	3,907,530 円	+151,062 円
スクールタクシー運行业務委託料	789,660 円	+19,260 円
スクールバス装置取り付け委託料	161,700 円	

⑪ 文化財保護業務

文化財資料館開館3周年記念事業を行うなど新たな取り組みが行われ、文化財及び資料館に注目して頂くことが出来た。まずは感心を持って頂くことが大事なので、今後も効果的な取り組みを進め、文化財を知り大切にしていける風土が育まれるよう図りたい。

- ・ 自主事業の開催 2回 参加者 60人以上
- ・ 来館者数 264人（前年度より33人減）

⑫ 浅原六郎文学記念館管理運営

3年ぶりにてるてる坊主童謡まつりが開催された。コンサート部門に器楽演奏が入るとともにアート部門が新設され、より多くの方が参加しやすいとともに鑑賞する方にも楽しめる場となっている。ほかにも新規事業にも取り組まれているので、今後とも事業を広め、文化活動を充実させたい。

- ・ 来館者数 379人（前年度より66人増）

項 目		実績
てるてる坊主童謡まつり	コンサート部門	13組出場
	アート作品部門	27点応募
こども・おとながつくる詩・短歌・俳句		477点応募

⑬ 小中学校への人員配置

会計年度任用職員として小学校に教育支援員、中学校に教科講師及び、各校に図書館司書を配置した。児童生徒が円滑に学校生活を送り、学びが充実するよう引き続きサポートに努めてほしい。

また池田小学校では医療ケアが必要な児童に教育支援員として看護師を配置している。今後もケアが必要な児童生徒には十分な支援が出来るよう図りたい。

適性配置の面からは職員間の異動をすればどうか。学校間のみならず、図書館司書は町図書館も含めた方が望ましいと思う。同じ機関にのみ勤務していると視野や取り組み方が固定化してしまう恐れがあるためである。今後の検討とされたい。

項目	配置人数	報酬手当等
教育支援員	各小学校4名 (内1名は看護師)	13,432,305円
教科講師	中学校3名	10,698,834円
図書館司書	各校1名	7,291,028円

⑭ 学校給食費補助

子育て世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図っている。物価高騰の中保護者負担を減らすことはとても有効なため、これからも支援に努められたい。

項目	小学生	中学生
町補助額(年額)	45,800円	46,600円
保護者負担	12,800円	22,400円

(町補助額を前年度と比較し、小学校、中学校ともに年間1万円増額)

⑮ 認定こども園運営

保育士不足は依然として解消されず、日々の保育を行うことに工夫があると聞く。保育園の統合によりその点が解消され、働く職員にとっても良い環境で保育・教育が進められることを望む。

項目	園児数※	クラス数	職員数
保育園児	161人	13	41人
前年度との比較	△7人	+4	△4人

※R6.3.31現在

⑩ 認定こども園施設管理

安全な施設の維持管理に引き続き取り組んでいる。バスに園児車内置き去り防止安全装置を装着し、環境改善も図られている。

今後も児童が安全に園生活を送れるよう努められたい。

施設名	施設修繕料	前年度との比較
池田保育園	2,213,079 円	+1,583,454 円
会染保育園	851,917 円	+681,404 円

・ 保育園バス園児車内置き去り防止安全装置の装着料 161,700 円

⑪ 児童クラブ・児童センター管理運営

就労などにより、放課後保護者が家庭にいない児童の生活及び遊びの場を提供し、自主性、社会性、創造性の向上や基本的な生活習慣の取得のための育成支援を行った。

施設の面からも子ども活動支援補助金を活用して、子ども達のあそび場の環境改善を図られている。

施設名	年間延べ利用者数	前年度との比較
池田児童クラブ	5,765 人	△1,122 人
会染児童クラブ	12,284 人	1,576 人
会染児童センター (未就園児分)	713 人	55 人

・ 子ども活動支援補助金を活動した施設整備

補助金収入 1,000,000 円

会染児童センター館庭遊具撤去・新設経費 1,006,500 円

⑱ 放課後子ども教室運営

誰でもが利用できる安心安全の場を提供し、友達や異年齢での関わり、地域の人との交流などを通し、遊びの幅を広げ自主的な活動をサポートしている。

新規で池田・会染合同の活動を3回実施した。子どもの数が少なくなる中、幅広い友人との交流は子ども達にとって良い体験であるので今後とも続けられたい。

施設名	開館日数	登録児童数及び 前年度との比較
池田	57日	52人 (+20人)
会染	55日	21人 (△16人)

⑲ 交流センター管理運営

住民が集う施設として親しまれ、有効に活用されている。これからも使いやすく文化活動を行う拠点となるよう管理運営に取り組みたい。

- ・年間来館者数 93,306人 (前年度より10,936人増)

⑳ みんなの文化祭・芸能発表

コロナ禍が明け、鑑賞者がもっと増えてもいいと思うが、会場が賑わっておらず寂しく感じた。多くの来館者が見込めるチャンスであるので、何か手立てを工夫され、会場に活気が出るよう取り組みたい。

芸術文化協会も40周年を迎え、コロナ禍により延期されていた記念事業をやっ
と行うことが出来た。同会の根強い取り組みに敬意を表するとともに、高齢化とい
う課題は今後も続くが、町民が仲間と趣味を楽しむことにより生活に潤いが持てる
よう今後も図られたい。

項目	数値	前年度との比較
芸術文化協会 40 周年記念 式典・コンサート	参加人数 230 人	
文化祭	出品数 870 点	+23 点
芸能発表	出演 20 組 218 人	△ 1 組 +67 人

②① 公民館講座 新池田学問所

「楽しさ発見・なかま発見・ふるさと発見」の理念に沿った活動がなされている。ポレポレ塾では町外からの利用も可能としたため、多くの方が参加され活気のある事業が行われている。活気は周囲にも波及し、町民も喜ぶ。今後も町民が集い、楽しみ且つ学びとなる催しを続けられたい。

項目	開催回数、参加者数	前年度との比較
みのり塾	7回 172人	△ 7回 △ 72人
ふるさとチャレンジ塾	9回 110人	△ 1回 △ 16人
ポレポレ塾	13回 564人	△ 1回 +141人
みらい塾	15回 170人	+11回 +61人

②② 男女共同参画推進

男女共同参画社会を実現するため、地道に活動を続けている。昨年度に引き続き、以下の取り組みが好評であった。今後も町民が楽しむ中にも考えさせられるような、良い企画を実施されたい。

・男女共同参画講座開催

無料映画上映「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～」

参加者 120 名

②③ 図書館管理運営

年間貸出冊数及び人数が増えている。交流センター内にあり利用もしやすいので、今後も多くの方が喜んで利用出来るよう、引き続き充実したサービスや催し開催に努められたい。

項目	総数及び 前年度との比較	一日平均及び 前年度との比較
年間貸出冊数	47,510 冊 +349 冊	167 冊 △1 冊
年間貸出人数	11,137 人 +642 人	39 人 +2 人
レファレンス (読書相談)	496 件 +16 件	

・図書館管理システム 新システムに更新

再リースを重ねていたシステムを令和5年7月から更新した。利用者端末を1台増やし、操作画面を低く設定することにより、子どもや体の不自由な方でも利用しやすくする等工夫が図られた。今後とも期待される公共図書館の役割を果たされたい。

契約形態	契約期間	システム利用料	リース料	保守料
5年契約	R5.7.1～ R10.6.30	98,450 円/月	125,400 円/月	67,100 円/月

②④ 図書資料

常に新鮮で適切な資料構成の維持がなされている。今後も同様に努められたい。

項目		実績	前年度との比較
受入図書資料		2,953 冊	△185 冊
内訳	購入図書	2,175 冊	△272 冊
	寄贈	778 冊	+87 冊
除籍資料		496 冊	+228 冊
年度末蔵書数		83,265 冊	

⑫ 美術館管理運営

指定管理者が代わり、目標としていた入館者数に実績が遠く及ばない状況である。

かつて美術館の運営継続について広く議論され、地域住民の芸術文化のために事業を継続することになったので、折角の施設を有効に活用させるよう、業者と良く協議され、対策に取り組まれない。

項目		実績	前年度との比較
指定管理者		静岡ビル保善株式会社 期間 R5～R7年度	
指定管理料		28,620,000 円	
展覧会開催数		11 回	+4 回
入館者数		9,053 人	△12,754 人
入館者 内訳	有料	6,929 人	△8,603 人
	無料	2,124 人	△4,151 人
入館料収入		3,892,660 円	△5,522,110 円
販売額		2,882,706 円	△2,989,761 円
施設修繕料 (繰越明許費)		3,012,900 円	+1,730,300 円

②⑥ 創造館管理運営

令和5年度より新規で美術館・創造館一体で管理を委託することになった。
 一体となったメリットを活かした活動は見られないので、活性化を期待する。

項目	実績	前年度との比較
指定管理者	静岡ビル保善株式会社 期間 R5～R7年度	
指定管理料	美術館費にて合算	
利用者数	5,040人	△2,654人
使用料※	648,117円	+50,385円
ワークショップ実施回数	2回 延5日間 参加者 23人	
ピアノ半額デー	16日間 参加者19人	

※使用料は指定管理者収益

②⑦ 多目的研修集会施設管理運営

団体の利用が減ったことにより総利用人数も減少している。

梅漬けをする目的での利用は増えているが、スポーツ、集会及び調理もできる施設なので、有効に使われるよう働きかけられたい。

項目	実績	前年度との比較
光熱水費	958,834円	△238,786円
施設修繕料	84,906円	△359,700円
施設利用人員	7,453人	△3,529人
利用料収入	248,925円	△9,725円

⑳ 公園管理

管理施設が多岐にわたり、維持管理に苦慮している点が見受けられる。

コロナ禍明けでイベント等での公園利用が再開している。特にこのような時はトイレなど気持ち良く使えるよう対応されたい。

項目	実績	前年度との比較
クラフトパーク電気料	11,646,225 円	+760,229 円
クラフトパーク施設修繕料	1,462,772 円	+884,765 円
休憩施設使用料収入 店舗「臣喰館」	533,000 円	

㉑ 各種体育施設の管理運営及び体育振興

体育施設ではコロナ禍を経て大会や合宿等の再開が見られる。施設利用者は屋内はほぼ横ばいだがグラウンド利用者は減っている。人口減少、特に少子化が進む中施設利用者が減ることは否めないが、健康のためにスポーツを通じた体づくりは大切であるとの意識は皆が持っているので、スポーツ推進委員やスポーツ協会等と連携を密にして、事業を推進してほしい。

また、行財政改革のため町民プールとしての利用はストップされているが、利用希望の声が届いているそうなので、再開に向け検討されたい。

施設の良い維持管理という面では今後特に昭和 55 年に建設されている農村広場の修繕が必要と聞く。多額な費用が必要となるが計画的に対応されたい。

総合型地域スポーツクラブでは、小さい頃からスポーツに親しみ、体を動かすことを好きになろうと、親子での利用を無料とするなど取り組みが進められている。

指導者確保等課題は多いと聞くが、町民の楽しみ、健康及び生活の彩のため活発な活動を期待する。

・松本山雅ホームタウン事業でも町民及び子どもたちがスポーツに関心を持ち、喜んでスポーツに親しめるようプロスポーツのコーチから指導を受ける機会を設けている。今後も事業の継続を望む。

施設名	項目	年間実績	前年度との比較
総合体育館	利用人数	20,605 人	+3,781 人
	利用料収入	1,117,775 円	+162,225 円
	施設修繕料	914,901 円	+600,301 円
学校体育施設	利用人数	21,332 人	△2,808 人
	利用料収入	196,950 円	+58,550 円
テニスコート	利用人数	4,665 人	△440 人
弓道場	利用人数	4,374 人	+54 人
テニスコート・ 弓道場	利用料収入	94,700 円	+4,300 円
農村広場	利用人数	4,180 人	△330 人
	利用料収入	4,800 円	△1,500 円

項目名		年間実績	前年度との比較
スポーツ推進委員会		12 回	±0
各種大会・スポーツ教室		8 事業	+3 事業
総合型 地域スポーツクラブ	補助金	2,850,000 円	+150,000 円
	教室数	22	△4
	参加者数	287 人	△23 人
松本山雅ホームタウン 事業 運動教室	事業項目数	5 事業	
	回数	11 回	